科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー1年A	授業形態	実技	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	グループワーク	授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4月28日	グループワーク	好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月12日	グループワーク	WHO　am　I。自己分析	教科書2章を読む
4	5月19日	個人ワーク	エゴグラム。心理テスト	自己分析のまとめ
5	6月2日	グループワーク	ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
6	6月13日	グループワーク	言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月16日	プレゼン	おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6月23日	グループワーク	日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	6月30日	グループワーク	なぞの宝島（またはわたしのイメージ）	教科書3章を読む
10	7月7日	グループワーク	ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7月14日	グループワーク	もし～がなかったら。ブレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	7月21日	グループワーク	How　much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月1日	グループワーク	わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月8日	試験		
15				
準備学習　時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】
CSU教科書、配布資料

科目名	デザインベーシックＩＡ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	菊池信二
学科・ｺｰｽ	eエンターテインメント科昼ー1年A	授業形態	実習	総時間（単位）	60 2単位		
教員の略歴	デザインプロダクションを経て、グラフィックデザイン、イラストレーション、店舗壁画などのクリエーティブワークを幅広く活動。						
授業の学習内容	平面構成（輪郭線やタッチ、ディテールを使わず、色面のみによる画面構成）の実習を通し、色と形の基本を学ぶ。 ポスターカラーによる表現（手作業）の実習を通し、PC作業以前に必要となる本質的な基礎力と忍耐力をつける。 アイデアラフ～下描き～彩色～仕上げといった作業の流れを把握し、定められた期間内で作品を完成させる 自己管理能力を高める。						
到達目標	色（明度・色相・彩度・トーン等）と形（直線・曲線・シルエット等）の特徴を理解し、 それらを活かしたバランス良い画面構成ができるようになる。 手順に沿った丁寧なアナログ作業ができるようになる。 また、完成にむけ各工程の時間配分ができるようになる。						
評価方法と基準	課題評価点数70%　準備学習15%　時間外学習の評価15%　なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしない。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義と実習	・自己紹介 ・授業の流れ、使用画材についてのガイダンス	
2	4月27日	講義と実習	・「明度」についての講義	・グレースケールによる実習
3	5月11日	講義と実習	・「色相」についての講義 ・12色相環の作成演習 ■提出	12色相環の着彩
4	5月18日	講義と実習	・「彩度」「トーン」についての講義・平面構成のﾎﾟｲﾝﾄを説明 ・異なるトーンによる平面構成の作成（アイデア出し）	平面構成のアイデア
5	5月25日	実習	・異なるトーンによる平面構成の作成 （ラフデザイン、配色プラン）	・平面構成の配色プラン
6	6月1日	実習	・異なるトーンによる平面構成の作成（下描き、着彩）	・平面構成の着彩
7	6月15日	実習	・異なるトーンによる平面構成の作成（着彩、仕上げ） ■提出	・ペン画による演習
8	6月22日	講評	・グレースケール・12色相環・トーンの平面構成の講評	
9	6月29日	講義と実習	・「色と形のイメージと心理的効果」について講義 ・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成（アイデア出し）	・平面構成のアイデア
10	7月6日	実習	・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成 （ラフデザイン、配色プラン）	・平面構成の配色プラン
11	7月13日	実習	・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成 （下描き、着彩）	・平面構成の着彩
12	7月20日	実習	・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成 （着彩、仕上げ）	・平面構成の着彩
13	8月31日	実習	・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成 （着彩、仕上げ） ■提出	・平面構成の着彩
14	9月7日	講評	・ペン画による線画 ・「暖かい／冷たい」の平面構成の講評	
15	／	試験	課題評価試験	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

課題内容や資料のプリントを随時配布。講義の授業ではテキスト「DESIGN BASIC」を持参のこと。

科目名	デッサン1B	必修選択	選択	年次	1	担当教員	郷治
		授業形態	実習	総時間（単位）	90 3		
学科・コース	e-エンターテインメント科						
教員の略歴	東京芸術大学油画卒業／画家						
授業の学習内容	絵を描く基礎体力として、デッサン力を磨きます。 デッサンの基礎は観察力です。目の前の対象から、何を情報として引き出すのか、それをどう画面上で表現するのかを学んでいきます。 アナログならではの素材（紙や鉛筆、木炭など）に対する理解や習熟を目指します。 これらを磨くことで、描写力は自然に身についていきます。						
到達目標	道具の適切な扱い方の修得（鉛筆を削る・練りゴムを使う・鉛筆や測り棒を使って比率を測るなど） デッサンの用語とその意味の理解。 先入観にとらわれない、客観的な「観て描く」姿勢の修得。 デッサンする上で、「形態」「空間・光」「質感」「構図」について表現する力を身につける。						
評価方法と基準	「形態」「空間・光」「質感」「構図」 提出課題に対して、上記項目が表現出来ているかを評価する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月22日	演習	剥製デッサン【デッサンについて】	クロッキー（人体・身の回りのもの）⍰
2	5月13日	演習	〃	〃
3	5月20日	演習	野菜デッサン【稜線と陰影】	〃
4	5月27日	演習	観葉植物デッサン【木炭デッサンに挑戦】	〃
5	6月3日	演習	石膏クロッキー（首像）【プロポーション】	〃
6	6月17日	演習	石膏デッサン（首像）【プロポーションと空間表現】	〃
7	6月24日	演習	〃	〃
8	7月1日	演習	人物クロッキー・デッサン【人体表現】	〃
9	7月8日	演習	人物デッサン【人体表現】	〃
10	7月15日	演習	ワイン瓶デッサン【楕円・円柱】	〃
11	7月22日	演習	〃	〃
12	9月2日	演習	細密デッサン（貝殻）【質感・描写力】	〃
13	9月9日	演習	〃	〃
14	9月16日	演習	ヌードクロッキー【人体表現】	〃
15	／			
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	

【使用教科書・教材・参考書】

デッサン用具一式（鉛筆・練りゴム・ガーゼもしくはティッシュ）

科目名	デッサンＩＤ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	大塚 直
		授業形態	実習	総時間（単位）	60 2		
学科・ｺｰｽ	eエンターテインメント科昼一1年A						
教員の略歴	多摩美術大学プロダクトデザイン卒業。インハウスデザイナーとして企業に就職し、現在デザイン会社にてデザイナー。						
授業の学習内容	[人体の基礎知識] 人体の構造・造形を理解し、知識を深める。 [表現方法] 人体クロッキーを通じて、表現力を高める。						
到達目標	ゲームグラフィックデザインに必要な２次元、３次元での造形表現力の習得。 １_人体構造・造形を理解し、基本的な表現ができる ２_特長の違いを理解し、違いを表現できる　　３_デザインされた造形表現ができる						
評価方法と基準	課題提出点数 課題評価点数（達成度） 各授業内容の理解度・表現力（観察力、完成度、技術力、発想力）						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題）
1	4月18日	講義＆実習	授業概要説明と資料（参考資料）説明 人体クロッキー	
2	4月25日	講義＆実習	顔の構造講義１ 人体クロッキー（顔の構造）	
3	5月9日	講義＆実習	顔の構造講義２ 人体クロッキー（顔各パーツ・表情）	
4	5月16日	講義＆実習	上半身の構造講義1（全体） 人体クロッキー（上半身）	
5	5月23日	講義＆実習	上半身の構造講義２（腕・肩・手） 人体クロッキー（腕・肩・手）	
6	5月30日	講義＆実習	上半身の構造講義３（まとめ） 人体クロッキー（上半身）	
7	6月6日	講義＆実習	下半身の構造講義１（全体） 人体クロッキー（下半身）	
8	6月20日	講義＆実習	人体ポーズの講義 人体クロッキー（全身）	
9	6月27日	講義＆実習	性別・年齢による違いの講義 人体クロッキー（全身）	
10	7月4日	講義＆実習	デフォルメ表現の講義１ 人体クロッキー	
11	7月11日	講義＆実習	デフォルメ表現の講義２ 人体クロッキー	
12	7月18日	講義＆実習	授業の振り返り講義 人体クロッキー	
13	8月29日	講義＆実習	各自オリジナル人体クロッキー	
14	9月5日	講義＆実習	人体クロッキーまとめ	
15	/			
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具 / 教科書（スカルプターのための美術解剖学）

科目名	コミュニケーションスキルアップ（CSU）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー1年B	授業形態	実技	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題）
1	4月18日	グループワーク	授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4月25日	グループワーク	好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月9日	グループワーク	WHO　am　I。自己分析	教科書2章を読む
4	5月16日	個人ワーク	エゴグラム。心理テスト	、自己分析のまとめ
5	5月30日	グループワーク	ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
6	6月13日	グループワーク	言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月20日	プレゼン	おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6月27日	グループワーク	日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	7月4日	グループワーク	なぞの宝島（またはわたしのイメージ）	教科書3章を読む
10	7月11日	グループワーク	ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7月12日	グループワーク	もし～がなかったら。ブレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	7月18日	グループワーク	How　much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	8月29日	グループワーク	わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月5日	グループワーク	わたしのイメージ2	教科書3章を読む
15	－	試験	CSU検定試験	
準備学習　時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

CSU教科書、配布資料

授業名（時間割表記）	デッサンIIA	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小梨貞文
学科・コース	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝﾀﾃｲﾒﾝﾄ/ｹﾞｰﾑｸﾞﾗﾌｨｯｸ&キャラクター	授業形態	実習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	多摩美術大学油画卒業／イラストレーター						
授業の学習内容	描き始める前に描く対象を多方向からよく見る。描く時の視点が決まったら落ち着いてじっくりモチーフを観る。写真撮影やエスキースを通して、構図や画面構成を考える。 鉛筆による描写技術の習得。鉛筆の種類、芯の硬さの選び方、芯の削り具合、筆圧を変える必然性を学ばせる。丁寧に、正確な表現になるまで描き直す。複数の題材を組み合わせ、質感や色味、形状を比較しその対象の描かれるべき特徴を捉える。 モチーフごとの形や色の変化を意識して陰影をつけさせる。						
到達目標	モチーフの立体感･位置関係･質感･固有色･陰影の表現を、意識的に鉛筆の選択や筆圧など技法と結びつける。正確に形を捉える能力を養う。構図、画面構成の視覚的効果を実感させる。陰影を単なる現象として描写するのではなく、形や色を再現する為の表現手段として捉える力を養う。完成度のあるデッサンを制作する。3DCGやイラストに繋がる視覚的意図のある表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	作品の完成度、提出率、制作態度を考慮し評価点を決定する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	04月19日	演習	静物デッサン 薪とボールか炭 共に複数	静物クロッキー
2	04月26日	演習	静物デッサン 薪とボールか炭 共に複数	〃
3	05月10日	演習	静物デッサン ブロックとりんご	〃
4	05月17日	演習	静物デッサン ブロックとりんご	〃
5	05月24日	演習	植物デッサン（野外か写真使用）	植物クロッキー
6	05月31日	演習	植物デッサン（野外か写真使用）	〃
7	06月14日	演習	ワインの瓶と玉ねぎとじゃがいも	〃
8	06月21日	演習	ワインの瓶と玉ねぎとじゃがいも	〃
9	06月28日	演習	静物デッサン　球体　ガラス浮き玉	静物スケッチ
10	07月05日	演習	静物デッサン　球体　ガラス浮き玉	〃
11	07月12日	演習	静物　幾何形体　円柱と木製の直方体	〃
12	07月19日	演習	静物　幾何形体　円柱と木製の直方体	〃
13	08月30日	演習	静物　かぼちゃと布とワイングラス	布のスケッチ
14	09月06日	演習	静物　かぼちゃと布とワイングラス	〃
15	／		評価週	

準備学習　時間外学習	前授業の復習および提示課題制作

【使用教科書・教材・参考書】

デッサン用具一式（鉛筆・練り消しゴム・カッター・ガーゼもしくはティッシュ）プリント

科目名	デッサンIIIA	必修選択	選択	年次	3	担当教員	郷治
学科・コース	e-エンターテインメント科	授業形態	実習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	東京芸術大学油画卒業／画家						
授業の学習内容	継続的なデッサン制作を通じて、客観的な表現力・判断能力・批評意識を育みます。 クラスで共通のモチーフをデッサンしていても、必ず個々人が描く作品の傾向には違いが生じます。 そのような自らの癖や偏りを自覚し、良いところはさらに伸ばし、苦手なところは克服することを目指します。						
到達目標	アナログ画材（紙・鉛筆・木炭など）の習熟度の向上を目指します。 「形態」「空間・光」「質感」「構図」といった平面表現の基本を経験として学んでいきます。 自分や他者の作品について、抽象的な事象を自分の言葉で説明できるようトレーニングします。 ポートフォリオに掲載可能なデッサン作品の制作。						
評価方法と基準	「形態」「空間・光」「質感」「構図」 提出課題に対して、上記項目が表現出来ているかを評価する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	演習	石膏デッサン【離れてみる・比率を直す】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
2	4月25日	演習	石膏デッサン【離れてみる・比率を直す】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
3	5月9日	演習	石膏デッサン【離れてみる・比率を直す】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
4	5月16日	演習	静物デッサン（牛骨・ブロック）【質感・描写】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
5	5月23日	演習	静物デッサン（牛骨・ブロック）【質感・描写】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
6	5月30日	演習	静物デッサン（牛骨・ブロック）【質感・描写】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
7	6月6日	演習	ヌードクロッキー【前期人体特訓①】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
8	6月20日	演習	人物デッサン1/2【前期人体特訓②】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
9	6月27日	演習	人物デッサン2/2【前期人体特訓②】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
10	7月4日	演習	椅子or机デッサン【工業製品・パース】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
11	7月11日	演習	椅子or机デッサン【工業製品・パース】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
12	7月18日	演習	静物デッサン（黒布・幾何形態他石膏）【空間表現】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
13	8月29日	演習	静物デッサン（黒布・幾何形態他石膏）【空間表現】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
14	9月5日	演習	静物デッサン（黒布・幾何形態他石膏）【空間表現】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
15	／			
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	

【使用教科書・教材・参考書】

デッサン用具一式（鉛筆・練りゴム・ガーゼもしくはティッシュ）

授業名（時間割表記）	デッサンⅢC	必修選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー3年B	授業形態	実技	総時間（単位）	90時間 3単位		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、たくさん描き画力をつける						
到達目標	様様な対象を時間に応じた描き方を習得する。密度の高い絵と素早く描くクロッキーを描けるようになる						
評価方法と基準	課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/18	実技と講義	幾何学形態+αを描く1　直方体	図学遠近法の復習
2	4/25	実技	幾何学形態+αを描く2　回転体	図学遠近法の復習
3	5/9	実技と講義	風景画を描く　1、2点透視図法	近所の風景を描こう
4	5/16	実技	風景画を描く　つづき	風景写真の模写
5	5/23	実技	工業製品を描く1	日用品を描こう
6	5/30	実技	工業製品を描く2	日用品を描こう
7	6/13	実技	自画像または身体パーツを描く	観察スケッチ
8	6/20	実技	クラスメートを描く	人物写真の模写
9	6/27	実技と講義	ヌードクロッキー	家族や友人をクロッキー
10	7/4	実技	自然物の描写1　野菜など	野菜果物を描こう
11	7/11	実技	自然物の描写2　花など	野菜果物を描こう
12	7/18	実技と講義	セミヌードクロッキー	人物写真の模写
13	9/5	実技	石膏デッサン	陰影法のトレーニング
14	未定			
15	／		評価週	
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	

【使用教科書・教材・参考

鉛筆セット　カッターナイフ　練り消しゴム（クロッキー帳）